

2011年12月15日

富士フィルムが、携帯型超音波診断装置の大手企業 米 SonoSite 社(ソノサイト)を買収

「携帯型超音波診断装置で世界トップ・シェアを目指す」

富士フィルムホールディングス株式会社は、携帯型超音波診断装置の大手企業 SonoSite 社（本社米国 ワシントン州 Bothell）の買収を発表。

SonoSite 社は、携帯型超音波診断装置のリーディングカンパニーで、全世界で高いシェアを持つ会社です。〈No1 シェア:GE Healthcare(51%)、No2 シェア:SonoSite(37%)〉

患者がいる現場で医師が直接治療方針の判断・処置を行う、いわゆる POC (point of care) 向けの機能を備える製品に強みを持つ。加えて、「装置の小型・軽量化に向けた、ASI (Application Specific Integrated Circuit) の設計技術や高精細な画像を得られるプローブ、光超音波技術などで優位性のある技術」を保有している。

超音波診断装置の市場は、全世界で 5000 億円弱/年と、医療画像診断装置で最大規模となっており、中でも SonoSite 社が主力としている携帯型の超音波診断装置は、年率 10%超の成長を続けている最も期待ができる分野です。

富士フィルムホールディングスは、メディカルシステム事業を重要な成長分野と位置付け、設備投資や研究開発を大幅に強化、積極的な M&A 展開による事業の拡大を進めています。今回、SonoSite 社を買収することで、成長著しい携帯型超音波診断装置の市場に本格的に取り組み、超音波事業を、メディカルシステム事業の中で新たに成長の柱とする。

SonoSite 社が持つ独自技術や、医療現場のニーズを的確にとらえる力に、富士フィルムの高い画像技術を加えることで、シナジー効果を活かした新製品の開発を行い、携帯型超音波診断装置でトップを目指す。

以上